

7
上
15
72市

昭和三十五年七月二十九日招集
第四回市議令臨時令々議錄

館山市臨時会々議録

昭和三十五年七月二十九日招集

一 七月二十九日(金曜日)

一 議事日程第一号

昭和三十五年七月二十九日子後二時開議

日程第一 議案第五九号 館山市職員等の旅費に關する条例の一部を

改正するについて

二 〃 〃 六〇号 建物売却について

三 〃 〃 六一号 昭和三十五年度館山市^スオ^ス追加予算

四 〃 〃 六二号 農業委員会の委員となるべき学識経験者の

推薦について

一 本日の会議に付く事件

議事日程に同じ

一現在議員三四名でその氏名次の通り、

- | | | | | | |
|----|---|--------|----|---|--------|
| 一 | 番 | 山本 昇 | 二 | 番 | 脇田 順一 |
| 三 | 番 | 三沢 節 | 四 | 番 | 志村 信作 |
| 五 | 番 | 岩崎 静敬 | 六 | 番 | 嶋田 繁 |
| 九 | 番 | 吉田 勇治郎 | 一〇 | 番 | 佐野 信 |
| 一一 | 番 | 川名 房吉 | 一二 | 番 | 黒川 信太郎 |
| 一三 | 番 | 長谷川 光江 | 一四 | 番 | 江田 徳太郎 |
| 一五 | 番 | 小林 寅之助 | 一六 | 番 | 石井 孝 |
| 一七 | 番 | 安沢 徳順 | 一八 | 番 | 安西 政治 |
| 一九 | 番 | 法木 嗣郎 | 二〇 | 番 | 萩生田 七郎 |
| 二一 | 番 | 後藤 ゆき | 二二 | 番 | 田中 禄郎 |
| 二三 | 番 | 吉田 辰雄 | 二四 | 番 | 飯田 義男 |
| 二五 | 番 | 鈴木 市藏 | 二六 | 番 | 鈴木 彦太郎 |
| 二七 | 番 | 田中 忠藏 | 二八 | 番 | 加藤 良太郎 |

二九番 遠山ヨネ子 三〇番 北山久雄

三一番 田村喜兵衛 三二番 鈴木孝

三三番 山口幸三 三四番 松本藤太郎

三五番 山口康 三六番 鴻貫壯作

一迄第百二十一条による出席説明員

市長 田村利男

助役 小出武男

収入役 完戸貴

総務課長 山口実

秘書課長 山谷潤昶

商工課長 羽山房雄

福祉事務所長 長谷川玄海

厚生課長 伊藤幸太郎

農産統計課長 吉田耕一

一本議会の事務局長書記および職員

事務局長 高梨清一

書記 太田博雄

職員 兵藤恭一

同 山口晴之

一午後二時開議

一出席議員二十九名

一欠席議員五名

一 一番 川名房吉 一三番 長谷川光江

二 三番 吉田辰雄 三 四番 北山辰雄

三 五番 山口康

○議長(山本 昇) 冒本日の出席議員数ニ七名 永々

第四回市議会臨時会ニ開会ハシマシ

この際お諮りいたします

季節も大暑の候であります。で、当分の間、会議は暑衣により行ないたいと思っておりますが、これに御異議ありませんか。

(「異議ありません」と呼ぶ者あり)

議長(山本昇君)御異議ありませんと認めます。

よって決定いたします。

本市議会の議案は、田村市長、小出助役、完戸収入役、山口課長、山谷課長、吉田課長、伊藤課長、羽山課長以上の出席を求め、この御報告いたします。

去る七月一二日開催の千葉県市議会議員会に出席して、萩生田前議長に引続き、県下議長会、夷東市議会議員会、全国市議会議員会への理事に選任され、この御報告

申しエダはあ一その御支援を賜りますようお願い申し
上げます。

会議録署名員の決定を行います。

お諮りいたします。従来、例になつてまいりて議長は
指名により決定いたしますに御異議ありませんか。

(「異議ありません」と呼ぶ者あり)

議長(山本 昇) 君御異議ございません。

よつて一四番議員 江田徳太郎君 二五番議員 鈴木
市藏君 以上両君を指名いたします。

これに御異議ございませんか。

(「異議ありません」と呼ぶ者あり)

議長(山本 昇) 君御異議ございません。

よつて決定いたします。

会期の決定を行います。

本臨時会の会期におきまして議会運営協議会の意見
は本日一日ということであります。

お諮りいたします。

会期を一日と定めますことに御異議ございませんか。

(「異議ございません」と呼ぶ者あり)

議長(山本 早 君)御異議ございませんと認めます。

よって会期は一日と決定されました。

これより議事となります。

本日の議事はお手元に配布の日程表により上程いたします。
議案を配付いたします。

(議案配付)

議長(山本 早 君)議案の配付漏れはありませんか。

——と認めます。

田村市長、提案理由の説明を求めます。

(田村利男 君登壇)

市長(田村利男君)本日、臨時市議會を招集いただき、
 ところで酷暑の折にもかゝらず御参集いただきま
 して衷心より感謝申し上げます。

すでに御承知と存托しますが先般池田内閣の廻閣に
 降してきて当選奉已選出の永田代議士には待たせ
 の大蔵大臣として入閣いただき、これは喜ぶことに
 郷土の榮誉であり無情の喜びとするところでもあります。
 この吉報を譯して早速私は山本議長とともに上京
 いたして、お祝いを申しあげて参りますのでこ
 ろに御報告いたします。

さて当面緊急を要するものといつて本日御審
 議をお願いする案件は農業委員会の委員となる
 学識経験者の推薦をお願いする件と国鉄運賃法の

改正に伴ひまして旅費関係の条例の改正 ます方舎
建設に伴ひまして図書館を売却処分する件と
さうに農業振興対策事業に對しまして国、県、補助
金の決定をみますので、その追ひ、その他若干の一般
会計の予算を上程いたしまして、いづれも当面
緊急を要するもので四件でございます。

各案件ごとにとそれと担当課長から詳細御説明申
し上げますので、何分御審議の上御賛成下さいます
よう特にお願い申し上げると御説明とする次第
でございます。

議長 山本 昇 君 日程第一 議案第五九号を工程いまして、

(書 記 朗 読)

議案第五九号 館山市職員等の旅費に関する条例の一部を改正するにつ
いて 総務課長 山口 定 君 議案第五九号について御説明申し上げます。

今年六月二日法律第五七号によりまして国有鉄道運賃法の一部が改正されまして七月一日から施行されることとす、たのであります。改正の要点でございしますが特別二等車制度はやくから廃止されてお、たのでございしますが今團この条例によりまして特別二等列車制度を廃止しようとするものであります。

次に運賃法の改正によりまして列車の等級が一等、二等の二つにな、たのでございまして従来、の三等が廃止されるのであります。

次に準急料金が今まで七十円であ、たのが今團百円に値上げにな、たのでございします。従いまして従来市といつては、この準急料金に於いて市では旅費を支給してゐな、たのでございしますが今團運賃法によりまして果田の旅行において、より

については千葉 下りについては茂原付金迄までの
旅行に對して準備料金を定すように改正しようとし
するものが主たるものでございす。従いまうてこの
適用は法令に基きまして今年の七月一日にさかのぼって
適用したいと考へてあるものでございす。

○二番(里)川佐太郎君 千葉 茂原かう先ですか。までですが、
○総務課長(山口 実君) 片道八〇キロ以上です。それ以上の旅
行でーの場合準備料金を支給しようとするものでござ
いす。

○議長(山本 昇君) 本案を討論省略 原案通り可決するに
御異議ありませんか。

(「異議ナシ」と呼ぶ者あり)

○議長(山本 昇君) 御異議ナシと認めます。
よって本案は原案通り可決されし。

議長(山本 昇)読いて日程第二 議案第六〇号

(一書 記 朗 読)

議案第六〇号 建物売却について

総務課長(山口 実)読議案第六〇号について御説明申し上げます。

けドめに図書館でございす。この土地は売却相手へ石川昇治氏へ所有にかゝわるものでございす。建物は昭和五年頃買、そのものでございまして経過年数は約三〇年位たつてある古い建物でございす。

新庁舎建設に伴いまして旧分館に図書館が移転したものでございす。従いまして現在この図書館は市

としては一応必要のない建物と見たのでございす。

必要のない関係上適当な価格でもって売却しようと考へまして建設課ありと評価いたしまして二十一万円の

酒格でもして石川昇治と契約いっしょに買って売却しようとするものでございす。

議長（山本 昇 君）議案第六〇号 討論省署原案通り確定するに御異議ございせんか。

（「異議ナシ」と呼ぶ者あり）

議長（山本 昇 君）御異議ナシと認めます。

よって本案は原案通り決定いたすこと。

議長（山本 昇 君）読みて日程第三 議案第六一号を上げたいです。

（書 記 朗 読）

議案第六一号 昭和三十五年度館山市オホオ出追加予算。

○厚生課長伊藤幸太郎君追加予算のうちオ出の部かつ申しとります。九款の保健衛生費でございす。このうち健民費に

五いて三万五千円 清掃費で十六万円の追加をお願い
いたしたいと思います。

三万五千円の追加は館山保健所管内の市町村をもって
結成されております。支援会の本市負担分でございます。
す。

十六万円は従来便ちております。清掃用の三輪車が
非常に悪くござります。たのでこの機会に四輪自動車と
かりとりついで清掃行政の能率をあげて参り
たいというわけでございます。中古車でござります。
農林統課長吉田耕一君。此款産業を消費につぎまして御説明
申してござります。

土地改良費の今回の追加として三百四十八万五千七百円を
お願いしようとするものでございます。そのうち需用
費におきまして百十六万円と計するものでござい

ます。ニニ節委託料のニ六万月分は畑作振興の一環とい
うことで地下水の調査を実施するわけでございます。ま
て市の負担金ニ六万月分を計上いたしまして残り三万
程度は果樹でございます。水源調査を実施いたそうと
するものでございます。

ニニ節負担金補助及び交付金でございますがこれは
三四年度におきまして小田地事業の認可をうけ
まして用水路等を実施したのでございますが、この
水源の溜池工事を三五年度並びに三六年度のニテ
年を期向というまして西岬の伊予地域におきま
して共同施行団体の認可を得まして、六万程度
の溜池を作ろうという計画の下に三五年度におきま
すところの大体半額三百万月の事業費をもちまして
本年度実施しようとするものでございます。これに

おーます補助要綱に基きまして整備事業補助金
九十万円を計入しなれけでございます。

次に林道開発事業費におきましては二百三十一万
五千七百円を計入しなれけでございます。これは

神戸の大神宮地域におきましては一般林道と
いましてその事業費二百三十一万五千余円を

もちまして直管で実施しようとするものでございます。
このうち、主たるものにつきまして土地の住民の労働

力によつてこれを実施する考えで賃金の八六万六千
余円が主なもの、そのほか工事請負員の三十四万七千円

と箱型暗渠の工事請負並びに擁壁の工事でござい
まして素人の人夫でできない関係でこれを工事請

負費として計入しなれけでございます。

二八節の施設費二十九万八千余円につきましてはそ

れぞれ林道に要しますところの用地買収費を計とす
たものでございす。その他はこれに要しますところの
いろ／＼の経費を計といたすわけでございます。
次に小団地の開発整備事業といつて五百七十三万
八千九百円を計といたすわけでございます。

この事業につきましては神戸豊房地域を南部地域といつて
まして小団地大ヶ所を農林省に申請いたすわけござい
ます。大ヶ所全部が承認をうけて、国の助成をいたし
て、内示を得たわけで百二十八万四千余円が国の負担として
ころうに入り、その他地え負担金四百万あまりを徴収して
不足額二百五十万を市費をもちましてこの事業六ヶ所を
施行しようとするものでございす。なお六ヶ所の内訳
でございますが、神戸を四ヶ所、祭農道、神戸の竜岡の農道
、西長田の農道、^山下農道、この四ヶ所が農道でございます。

てそれから神戸地区の洲原の川をせまじめして
用水池に充てようというものでございます。それか
ら東長田の用水路が六ヶ所合せて六ヶ所の事業
を実施しようとするものでございます。

そのおもなるものにつきましては先ほど林^道面で申しま
した通り人夫賃工事請負費これは施行工事は専
内家^に請負わせて実施させたいと思っております。

なお農道工事のうち農道の橋がございますがこの農
道上の請負料は、かように考えて五十四万
三千余円。農道工事が三十九万六千円程度でこの
事業を完成したいと考えております。

そのほか原材科につきましてもは農道、それから用水
路等に要しますところの砂利その他でございます。
以上が小団地の事業費の概要でございましてそ

のほの節はこれに必要な金額を計りたわけでございます。
合せて五百七十三万八千九百円を小用地
開発整備費としてお願いしようとするものでございます。
す。以上でございます。

。高工水産課長(羽山房雄)は、総て八項観光費について
御説明の申しエ致します。

委託料におきまして十五万円、追加は観光案内業
務と当市の観光協会に委託してありますので委託料
として支出まいと考えております。

なお二四節の工事請負費で十万円は最近春秋の砂
山周辺を通りが非常に目立ち、多く、てあります。
ので付近に適當な公衆便所を設置して利用者の便
をかりたい。こう考へて計上した次第でございます。
なお十万円のうち交通関係業者から観光施設料は

金として三万円計といっております。もう一つお願いいたします。

。臨時課長山口 実 忍々生合計前年度までの累計額三億三千四百七十一万三千四百七十七円 今年度追加額九百六十六万九千六百四十九円 合計三億四千四百三十六万九千九百四十七円 次年度入ります。

三款地方交付税において今年度百十八万七千円見込みです。公営企業及び財産収入七割五千六百円は物件売却代金でございますがこれは先般入れたいました。キャデラックが四万二千円 ベーカーが三万一千六百円 それから旧庁舎で使用しておいた旧式の電話の交換機でございます。これを四万一千二百円で売却いたします。

次に五款分担金の四百七十六万六千六百円は歳出で説明いたします。また地え分担金、工事費、六〇名から四二%

の地九分担保金でございします。

次に国庫補助の追加額二百二十八万四千円は至業至
消費として小団地一般林道の補助として国より交付
される補助金額でございまして工事費に充て
約二〇%とばつております。

第八款果実支出金二十三万八千円はオオで説明して
一ノ煙地区の地下水調査に果補助金として二十三万
八千円の補助をみただのございします。

九款家は金 一般家は金で二万五千円は千葉プリ
ミス株式会社との締結によります新車のグロリア
を買う場合 市にある古い車を千葉プリミスでとる
場合には六万円とされたのございします。もしその
六万円でという場合は家は金として二万五千円
家は一萬という。 一般入札によりますて旧東用車

者かう察けまゐて
すゝすゝ

四百月計上ハ一五二五

歳入歳出残金ございまして、

説明
終了す。

本議案に於ては御質疑ございませぬ。

。三番（三） 節 農産統計課長にお尋ねいたします。

今回農産方面に於いて非常にたくさん、事業がおりにまわっておりますことは私も農産として非常に嬉しく思っておりますけれども、この大きな九百万の事業費が当然民間予算に入るべきものであらうと思ひますが、当初予算においてどういうわけであつたのか、この点について御説明願ひたい。

。農産統計課長（吉田耕一君）お答えいたします。

こうして大きな追加を当初に盛り込んだかという御質問と思いますが、御承知のようにまだ政府の方針が確定いたしません関係から私もいろいろして、従来政府の予算が確定してはつきりして、助成が認証になつてから追加をお願いいたしかうに

考えておられたわけでございます。 昨年も同様な方法で実施いたしました。

今年も六月下旬になってこの認証が得られたというように関係の確定した数字をもつて追加をお願いしたいとかように考えて当初に計上いたさなかつた次第でございますのでよろしくお願いいたします。

三番（三沢節君）よくわかりました。この点に對して私は全面的に賛成いたします。

四番（志村信作君）砂山の便所を建てるのに十万円、これはよくわかりますが飲料水は必要ないんですか。

商工水産課長羽山房雄君）お説の通り井戸の施設も無い今のところございません。——これにつきましてもやはり交通業者の方が何の形であそこえ店のようにするもの、あるいは飲料水をつみこんでいて利用するもの、

の便宜をはかりたい。こういう申し入れがありますので、ちうへう、飲料水もお願いしたいと思っております。なほ将来は当然便所の手洗ひ等考えて飲料水の施設も看々になければいけないかとも考えております。現在、ところどころあえずブロックで約三年の便所がございまして、地主の了解を得次第やりたいことを考えております。

○三四番（松本藤太郎君）清掃費であります。が三輪車と四輪車と一べいということで十文不返りております。最近清掃の手数料が値上がった。その反面、回教が今まで一週間に一べんは手車、とき々はきてくれた。のだが最近は一べんは一べん、かきない。たま、てー、て、目今で捨てていくということも聞いております。が、今手車を使ってやっておるのか、その点と、荷車を使う

なくてトラックにリマシーナで回収がよくなると思うのだが
逆に悪いということも聞くのですがこれは一地方の
特別な事情でそういう現象があるのかその点と同
いまい。

それから産業を消費の土地改良あるいは小国地開
発事業の中で非常に今までも議会で意見もでき
ーたが農業関係は食料費が非常に多いというよ
うなことも聞くところであります。この場合も一万

五千円という金でであるがもちろん必要なんで
ありまして、そういう金でやられるのかまたどうい
う人々が参加していくのか、改良の場合でも一万
五千円追加になってより小国地の場合には三万円計
入してある、この点についてお聞かせ願いたいと思いま
す。それから観光費ですが、駅前の観光案内所に十五万

月の委託料ですが、観光案内所は観光協会で二年か
三年前にあそびに使ってわかれーも喜んであるのろす
が委託料というものが年度途中ででてくることは私
は理解できません。これは今年に限って委託料なのか
あるいは従来こういってやうな委託料をおいていく考え
があるか。そういう点をお聞かせ願いたいと思います。
厚生課長伊藤幸太郎君　まず清掃の問題からお答え申し
上げます。

現在手廻押車はごく一部において使用してあります。
大部分は車でやってあります。それから最近におい
て遅れてあるというところでございしますが、御指通の通
り従来より遅れてあります。これは、まずのは先ほども
申しましたやうに自動車が一ヶ月ばかり故障
をしております。その途中に特向がかりを

そのための一つ　それのう人天で二人ばかり実は長期
の欠員がございます。療養中がございますのでその
ような関係から御指適のようになり受けて
おるわけでございすが本日実はこの補充に一名採
用いたしましてまたこの追加が通りますれば早
速にも自動車と一台補充いたしましてできるわけ
清掃の方をやって参りないうという気持ちでおりますので
一ぱうく御猶予願いたうとかように考えております。
。農務院計課長（吉田耕一君）土地改良費の食糧費について御
説明申し上げます。

林道関係の一万五千円がございすがこれは受益者
全員の総会を定めたります。これが一人あたり五千円
で大体一回ということになっております。これは一口
人を見込んでおります。それで五千円。それから果の係

官の検査指導という面で大體五圓とみて、その場合
一圓を五百円二人と仮定いづゝて五千円み
ておるわけでございます。あとの五千円につきま
す。これは事業と着年下るとき、また竣工したとき
に差工の祝いと竣工の祝いと五千円みて、いづゝて
合せて一萬五千円を計るゝわけでございます。
小国地内係の三万円は六ヶ所事業ヶ所をもつて
おりますので、その会議を一圓三千円とみて、いづゝて
六ヶ所の二圓分六千円を計るゝわけでございます。
そのほか果の係官の調査あるいは指導という面で
参りますものと、五二千円程度六ヶ所分を一萬二千円
次に竣工式の賄料といづゝて一ヶ所二千円をみ
づゝて六ヶ所分一萬二千円を計るゝわけであり
ます。合せて一萬三万圓食糧費といづゝて計るゝと

わけでございます。

。商工水産課長(羽山 房雄君)案内所の委託料につきまして御
説明申し上げます。

大体これは当初予算に計入すべきものであります。
御指摘の通り、実は当初予算に予算要求はできてお
り、そのまゝでございますが、いろいろ財政の都合上、今まで
見合せて取りました。そういう関係でございます。

大体これは果もそうであります。埼玉あるいは神奈
川あたりでも、各案内所には市役所から嘱託がでた
り、所役場からでたりして案内業務をとり扱うわけで
ございます。が、本市の場合には以前本市にありまして
職員の大体一ヶ月分の給与に見合う程度の額を支
付——う、適当ではないかということと十五万円計上
して支拂っている次第でございます。

それのう清掃する方です。本當に市の仕事として一
番市民に身近な仕事をやつておられるのです。
うさういう人々に対しての待遇といふ、まずか、さう
いう点からこの前も申しあげましたと變じや
ないかというふうに見受けられる。要するに仕事を
していく上にあつての意欲の点に非常に大きな關係も
あるのだせぬ。さういふ点について今までのようによ
くやつていて、まゝいと希望するわけでは
それの産業を消費の食糧費ですばいく四倍
があるという方がいすれに——そして、さういふやう
~~が~~が他から出ていないやうに農地關係についてけとかい

問題もありますのでそういう点に御留意下さって有
知にや、ていねいと思つて。

それかう観光案内所の十五万ですが、そうしますと今後
あそこに働いておられる方の一ヶ月分の給与などが、こういう
御答弁がある、べのですが、それを将来す、と考へていく
ことになるのかどうか、それかうされと述べかうにはやはり
あそこ、経営内容、いろいろあると思いますが、観光協
会、かつどの位の経費が案内所に対してでておられるか、
市かうは十五万、こういふ、たやうなことを、お聞かせ願います。
○厚生課長(伊藤幸太郎君)係車は現在二台、部分的に便して下ります。
待遇、問題ですが、この点につきましては、一つ研究させ
ていきたいと思います。

○農畜統計課長(吉田耕一君)産業経費、食糧費につ
きましては、今の御注意に基づいて、今後十分実施

いかにたいと考えております。なお参考までに申
し上げますと食糧費につきましては補助の対象外
となっております。肉係で私どもでやるだけ縮小
していいというふうな考えをもっておるのでございま
すが御承知のようにな各事業ヶ所、地域ごとにと
うしても仕事始め終りというものをやると相当な費
おのかか とうして市が直営して全部そうして面
でも包含していいかとその範囲で実施できると地元
として負担が軽くなる、というふうな御希望
もございますのでとうして市の予算の食糧費とし
て計入してございます。肉係で多少、多いというふう
なきらいもあると存じます。以てこのような肉係で
今回は計入してわけでございますが、使用とありま
してはたい今御注意を十分厳守いたしていただいと思ひ

ます。

○商工水産課長（羽山 房雄） 案内所につぎつぎと実はた
だいま、このところあの案内所の建設費にほか、
融資を受けて経営上非常に当惑者が苦勞を
してあり当分の間、ところかうやめてあるうえ移りか
職員の方、今は十五万以下年間であると思ひます
が、つぎの数字と持ち合せてありますんで申し
分りありますせんが二年ほど前に大体四十五万円程
度の赤字がまうた、それを着々委託販売とかあ
るいは旅客の対する案内とかそういうものの手数料
の利益によつて着々うめていくのだけけれども当分
の間めんどうをみてもらういい、赤字を解消する
間だけみてもういいという要求 ~~が~~ あります
いるような状態でございます。それかうずくとやる

という見通しはいまのところは、きりきりしてありません。
。三四番(松本藤太郎君) 私は案内所の売エグが非常に
いそがしいばかりで利益が少くない。お客さんの案内が
とかそういうことにとられていき、純益というものが
ないのだ。であるから実際はこれだけの仕事をして
いって、あつても、こういう回答があると思つた。
今聞くと赤字が四十五万円ですか。こういうお話です。
そうすると四十五万というものは、その建物を市でも
てぎくずりに持つていくと解釈できますが、建物を
市でもつてやる。一かもしれが市の方で計画して、
してや、そのものではいい。観光協会がそこに建て、
その概成事実によつてあとかう公費でも、これをま
かす、ていくということではちよつと了解が苦い。こ
ういういき方は、同入同志の取引で、こういう点につい

てはふほど慎重にや、ていねいかないとい……
 だんくまいてみますとこういうことになる、こう
 いうことでは私は納得できません、もうどうも、きり
 説明して下さい、それと建物がいくつか、これへだ、この
 建物も毎年十五万づつ払、て何年か、るのだ、それ
 だけ払うのだとおっしゃるのか、どうなのか、その点
 をぜひきり聞かしていただきたい。

商工水産課長(羽山 彦雄) これはやはりあくまで
 人件費の一人分の給与に相当する程度の委託料で
 こういうふうには私も扱、てあります、建物の件
 につきましては、当時融資をうけて建物と建
 てるというふうには説明、してあります、融資
 の償還にまだ当分の間はかかる、この間人件費
 の程度をみてもらうとい、いすれば、私も私数字

船なものを持ち合せてあります人で申しわけな
いのですが、これは、ちほど調査して御返事して
よろしくございますか。

○三四番(松本藤太郎君) 私がまいてあるのは四十五万の赤
字だということはおそらく三三年のおそらく四十五
万の赤字をぬいては、建物だと勘いてある。
建物はいくらか、って観え協会から幾う金が出てお
て赤字はいくらだということも聞かしてくれといっ
てある。そういう答弁はない。私の方で送ってしま
う。それでは、ううーと下まうとこういってある。
○商工水産課長(羽山孝雄君) 私の説明のあやふやだ、と点はあ
いります。ううーこれは一人分の一年の給与に見
合う程度も当分の間面倒をみてもらうといふこと
でぬいてあります。

○三六番（鴻貫壮作君）あそこは何人いるのですか。

○高工水産課長羽山房雄君「たゞいふ男二人と女一人三人み

ります。そのほか学生アルバイト一名を臨時に求

めております。たゞ今のところ入っていませんが

交渉中でございます。

二二番（黒川守太郎君）清掃問題で当市がこれか

種光都市文化都市として伸びようとするときに

ありまして重要な問題であらうと思っております。

ところがたゞいまの課長の御答弁にはいまいちばうく

御満足願いたいということでございます。たゞ私思

いますに今は避暑観光に館山市のへま入水時だ

と思ふのであります。そこで私本議員が申され

たように川に汚物を捨てるといふことになりまし

と目で見えなすなすもあります。さうだとすか

悪疫でも発生した場合 吉市にと、てあうゆる面において重大問題ではないかろうかと思ふのであります。そこで私は課長の答弁も即刻善処いましてすという答弁がけいひのた。またそうなくてはなうめと信じておりますが課長その点についてどう思いますか。

○厚生課長伊藤幸太郎君　ごも、ともな御意見だと考えております。

私、申しあげます。これは自動車の買入れに於いて一台補充してやって参りたいという事で申しあげたのでございます。それと関連いまして。人夫の問題も今申しあげたように本日一名も補充しなうとすた近々で来るだけはやく補充したい。いいという予定で進んでおりますので。いはうく

の間御猶予願いたいという意味で申—エゲテわけ
でございますので御了承願います。

〇二番(里)川は太郎君。そこで私はこの際補充を待て、というごとく、
すく、特に増員してまでもやるという熱意。それ後の意欲をもつて課長にや、てもらいたい、
ということです。

厚生課長(伊藤幸太郎君)善い方だと思ひます。

二九番(遠山ヨネ子君)公営企業及び財産収入のところど
すけれども自動車は払い下げは御説明があらうと思
います。が、この払い下げというのは大体どういう
方法でおやりになるのですか。又公示するのですか
もう一つ建物の払い下げは議案にのって売却の相
手方までおるのですか。こういうのはどういふ方
うで——その中で——どううう、あるいは、あるいは、

いたのですけれどももう一回お聞きたい。

○総務課長 山口 実君 予定価格が大体二十万位の、黙ぎい額
になると議会を通てあるが、これは古い自動車でも
うてとても二十万で買手が無い、こういう見込みの
下で市の広報で告示いたして先般入れたいの
でございます。その結果がこのようなのでござ
います。以上でございます。

○二九番(遠山ヨネ子君) そうするとおいて下グ先は公ホーな
くてもいいわけですか、議会を通さなくてもいいわけ
ですか。

○総務課長(山口 実君) こういう低価なものについては市長の
権限においてでまうと思えます。

○二番(黒川佐太郎君) 農業関係ですが、これは村のこの賃金
が大きいのです。私思うの、地え負担が非常に大きい

そこでその大事は地えに償還えという言葉はあてはまりません。が地えに果けー々ときいくのですか。

その見方一つ、

。考計^〇澤長(吉田耕一)君大休畧道につきまーては、
強^〇なると思ひます。その程度が人件費とて支
おられるわけです。そのほかニ、ハス強^〇が資材その
他にな、てあります。

。三田委(松本藤太郎)君質疑は終、々ようですが私は龍光
費の委託料十五万別にこれに、だわ、てゐるわけだ
は、ごさいせんが、一つの筋を通ーたい、その意味で
申ーエグてゐる。龍光につきまーては私もーばー
ばさういうことに当るもお骨子願ひたいと申ー
エグてゐる。決ーてこの点についても私は反対にな
い。ーのーき高が、ーやるように値向してゐ

ってところが建物だ 建物の費用が幾らかといつて
う幾らかのわかんない、 そういうことだと親交協会と
ーと独自の金だとの位でてあるかということも明ら
かでない建物に對して、 それから現在年間どのよ
うな全費 幾らの収入があるかということもわかん
ない、 これから調査します、 こういうことでありま
すので調査して的確なものをついていきたいと思います
い、 従つてこの親交費の委託料十五万に對しては
反対があります、 削除私はどう申しあげます
。三六番(瀨貫壮作君) どういふ三四番議員からの御提案に
對して私は賛成いたします。

。議長(山本 早)君暫時休憩いたします。

三時三十分休憩

四時三十分 再会

議長(山本 早良)休憩中から引続る会議を開きます。

大いいます。出席議員数二九名。

○三四番(松本 藤太郎君)先ほどの議案第六一号の審議を

ございます。この歳出の産業経済員について

私は質疑が打ち切られて討論有罪で可決とすべ

てくれでいくと思つたので、待たせをわけわけで

す。休憩中にいろいろ意見と聞きましたところ

まだ質疑中であるというに私も了解いたしました。

疑いす。先ほどの当分の答弁も変更してある。

ちよつと了解が苦い点がございますのでもう

一回御回答を市長さんにお願ひします。

市長(田村 利男君)観え費の問題につきまゝと主幹課

要う説明申して貰うとわけでございますが
うう／＼半違ひがありまして混乱を来しますと申
しわけです。次第でございますが市といふことは
観光案内というのは当然市が行うべき仕事であり
ますので観光協会に代行させているのが現在の状態
であります。従いまして観光協会に代行させろという
意味におきまして観光協会の事業に対する補助
という形で十五万月計に次第でございます。

○三四番 松本 藤太郎 君 いまう——内容に入つて御答弁願
ひたいと思つてます。

○市長 田村 利男 君 従来の移転の経費というふうな言葉が
はやうなか、現時では観光協会には七万乃至八十万
月給の手当補助をしてゐるわけでございますが
四五年を最後にいまして一切観光協会に付

する補助は打ち切られてあります。

いろいろ観光費や花火代とかいうものがその後でいろいろよく御想像になるかも知れませんがこれはすべて八月の商工祭の主催とするものに補助を——しているものであります——観光協会そのものには一先も金をさば——ていなか、たわけであります。——かしながらその後当然市がやらなければいけないというふうな本當に——迫った状態にもなっておりますので観光協会に補助金を与えてそれが代行をうな——か——ておうと——という形でございます。

まあ複転的経費の復活という——そ——りはあるかも知れませんが八十万円——ていなものが今ではこの十五万以外観光協会に——一先も——ていりません。

〇三四番(松本藤太郎君)八十万円——てお、たものゝ今は一先

もでいていいとい、すすけれども一十万でいいとい
は数年前のことであつてその当時のことを考へます
と觀光協会が過年度赤字が十八万円あるかう何とか
してくれといつてきた、その上補助金は今おしやうに通
り一十万円してゐる、その赤字の十八万円を加えろと九
十八という金が市からでた金に足りず、さうして全部の
費用が幾らかというと百二十、計算すると差額は三
万の四万、その金が館山市三〇〇〇の商店をもつ觀光協会の
費用である、かういふことではまずいじゃないか、その金
がどう使われているかも市当局はしうなかつた、かういふ
やり方はよくない、館山市が伸びていこうといふとき
に全く無意味だ、このふうな補助金はいかぬといふこと
で、私はいまだに記憶してゐます、さういふことか
ら出發した

それかう移動的要素の問題が上から下へ及びて参ります。それで完全と切った、そして重点的な面に産業の仕事のあり方はいくべきかという事実であつた。

現在金が十五万とお、ーやいますすけれども 実際はで
てある。ですかうやはり市へう金とだす場合にはだす
だけの根拠があつてそうしてださなければならぬ。であ
ります。かう私はお尋ねしたわけあります。その点はおも
うよう、ーい、る、よう、今後改めてもう、こゝにい、ま、たい、
それかう先づどのお話で三年か五年、当分の間とい
うのはどの位のと聞いたらうけ、まり、ませんので永え
にだすのかどうかは、きり、その点で伺います。

市長(田村利男君)そのことよりもあーろ市が独主に観光業内所を直営するということ事態とはやくやりたいたいという言葉を御了承いたしていただきたいと思います。

はやく市が直営してこの費用は直営の方でまわすと
そういうふうな考えであります

三四番（松本 藤太郎君）それはいさこういう問題でなから
市長さんそういうふうにあっしやる、あそこは案内
所を設けるというところがそれまでにはっきりと確
信をもつてあ、しやる気持ちがあればその当時やる
べきだった、その当時は観光協会にまわしてあつて全
然ノーマットだった、市はいまになつてそれを市でやる
べきものであるというところはちよつと私たちも善意
な解釈ができてない、物事ができてしまつて既成事
実、あとにのつかつてそういうことといつてある。
先日と課長さんのいわれたような点と今市長さん
のおっしゃることは違つてきてある、こつという点
についてもう一ぺんは、より説明していただきたい。

とにかく物事は既成事実のちりこうであるとか
 いうふうなことでいくことはやめていた方がいい。
 それだけはいよいよドローでいたったかといふという
 公費の支出について参照している場合に非常と
 不愉快な感がある。これはやはり明らか
 やってもらう方がいいと困る。その点こんじない如う
 して議案を提案する場合には先ほどのようで見
 参りの答弁のはいようといふ。安易に氣持
 てもって議案を提出しないよう一つ特に御注意
 を願いたいと思っております。

議長(山本 昇) 議案第六号 討論者畠 原案通り
 決定いたします。御異議ありませんか。

(畠 議者) と呼ぶ者あり

議長(山本 昇) 御異議ございません。

よって議案六一号は原案通り決定いたします。

議長(山本 早(召)) 続いて日程第四議案第六二号まで
程いります。 暫時休憩いたします。

四時四五分休憩

五時四五分再会

議長(山本 早(召)) 休憩前に引き続き会議を開きます。

今日の会議の時間も参りました。これが議案もまだ完全
に審議し尽くれませんので終りますで時間を延長し
たいと思います。が御異議ございませんか。

(「異議ございません」と呼ぶ者あり)

議長(山本 早(召)) 御異議ございませんと認めます。

よ、て会議時間の延長を決定いたします。
暫時休憩いたします。

五時四十分休憩

六時五分再会

議長(山本 昇) 君 休憩を引続き会議を開きます。
先ほど議題に供しました議案第六号を朗読さ
せします。

(書記朗読)

議案第六号 農業委員会委員の推選について

(山口 幸三 君 登壇)

〇三三番(山口 幸三 君) はい、議題となつております
農業委員会委員推選について、議案に對して

發議者と代表して御説明いたします。

お手元に配付の印刷物のとおり、志村信作君、佐野
信君、と最適任者と認め推薦をいたします。で
満場の御賛成を賜りますようお願いいたします。提案
の説明といたします（拍手）

。事務局長（高梨清一君）ヨコとに申し分りございませんが
ミスプリニトについて御了承願います。

。農業委員会等に関する法律（昭和十九年法律第百
十五号）とありますのは、二十年法律第一八号の誤
りでありますので御訂正願います。

。議長（山本 早君）議案第六二号、討論省畧、原案通り
決定いたします。御異議ございませんか。

（異議あり）と呼ぶ者あり

。議長（山本 早君）御異議ありと認めます。

予、て本堂日原案通り決定し了す。

〆、いゝ農業委員會の委員に推薦され、志村
 信作君、佐野信君より発言を求められて、
 すゝてゐるを許します。

(志村信作君伝野信君登壇)

四番（田中）^{田中} 僑 君 今回私と二人は議会推薦の農業
 委員に推薦されまして、わがもとより浅学菲才の身
 であつて、全力をこめて農業委員の本分を全
 うしたいと思つて、よくお願いいたします（拍手）
 議長 山本 昇 君 以上でもらうとして第四回館山市議会議
 臨時会へ全議案を議したいと思つて、たゞでござい
 ます。ちよつと内会といつて、まうす。

議事山本 畢 以上もろろて第四回 館山市議会
臨時会へ全議案を議了いりまゝたのぐまれをも
ろろて内会といりまゝす。

六時四分會

昭和三十五年七月二十九日

右會議の次第を録し、に署名す。

館山市議會議長

同 署名議員

同

山形市
市長
江田 徳太郎

